

## 地域フォーミュラリは「医薬品流通にもメリット」

日本F学会・今井理事長、沖縄の“無卸地区”で新たな動き

2024/10/21 16:42



日本フォーミュラリ学会の今井理事長

日本フォーミュラリ学会の今井博久理事長は20日、大阪府内で開催された同学会学術総会で講演し、地域フォーミュラリの導入は過疎地域での医薬品流通の観点からもメリットがあると言及した。医薬品が絞り込まれることで、「効率の良い医薬品卸の流通体制が構築される」と強調し、この点に着目して卸の営業所がない沖縄県北部地区で導入の動きがあることも紹介した。

今井氏は、少子高齢化が進展し、地域人口が急速に減少する過疎地域では、医薬品卸についても営業所を閉鎖する可能性が高まると指摘。その場合、医薬品卸の流通網を維持することが困難になるとの懸念を示した。

その上で、地域フォーミュラリを導入し、医療機関・薬局が採用する医薬品が絞り込まれると、無用な在庫が減り、需要予測も容易になると説明。効率的な医薬品卸の流通体制が構築できると見通し、「医薬品卸の流通面でも計り知れないメリットがもたらされる」と主張した。

### ●「やんばる地域フォーミュラリ」年内始動へ

今井氏は、医薬品流通の課題解決から地域フォーミュラリの導入を検討している実例として、沖縄県北部地区を挙げた。同地区では医薬品卸の営業所が存在せず、地区薬剤師会が医薬品備蓄センターを運営している。地区薬が所持する配送車両を事務職員が運転し、会員の医薬品入手を支援しているが、複数の無薬局地域が存在することなどから、持続可能性が大きな課題になっているという。

そこで同学会がオブザーバーに入り、今年8月に地区三師会と保険者で構成する「やんばる地域フォーミュラリ委員会」が発足。年内にも複数薬効群での導入を目指している。今井氏は、同地区からは「医薬品流通の問題を解決する手段として地域フォーミュラリが有用との声が多く聞かれた」と述べた。

---

All documents, images and photographs contained in this site belong to JIHO, Inc.

Use of these documents, images and photographs is strictly prohibited.

Copyright (C) JIHO, Inc.

株式会社じほう

PHARMACY NEWSBREAK 2024年10月22日掲載  
[許諾番号20241030\_02] 株式会社じほうが記事利用を許諾しています。